

講義名称	文章表現法 I	担当教員名	三成 清香
科目群	教養科目 (LA) CA1・DI1		
科目区分等	外国語、体育以外の科目 (B) 必修	単 位	1
対象学年次	1年・春学期	ナンバリング	CLAB1108

授業のキーワード	日本語運用能力 敬語
授業の概要	保育の現場では日誌、保護者への連絡等、日々様々な場で適切な「書く」能力が必要となります。この授業では、より適切な日本語の使い方について学びます。
期待される学習成果 (目標)	1. TPOに合わせた日本語の「話し方」を習得できます。 2. より的確な「書き方」を学び、伝わりやすい文章が書けるようになります。

授業展開		
回	テーマ	内 容
1	オリエンテーション	授業の進め方、評価の方法について説明します。
2	話す・聞く①	保育者に求められる話し方について学びます。
3	話す・聞く②	あいさつの効果と実践について学びます。
4	敬語①	敬語の種類について問題を解きながら確認します。
5	敬語②	ロールプレイを通して敬語を実践的に学びます。
6	話す・聞く③	傾聴の重要性について学びます。
7	自己紹介	印象に残る自己紹介について学びます。
8	コミュニケーション①	実習先との話し方／保育現場での話し方について学びます。
9	コミュニケーション②	就職活動（面接）における話し方について学びます。
10	書く①	正しい表記と文法について学びます。
11	書く②	正しい表記と文法について学びます。
12	書く③	文のねじれと伝わりやすさについて学びます。
13	書く④	四字熟語や慣用句について学び、表現力を磨きます。
14	書く⑤	課題に沿って、様々な文章を書いてみます。（ピア・ラーニング）
15	まとめ	これまでの学びについて振り返ります。

定期試験	筆記試験
授業時間外学習	受講後はワークシートやノートを見直して復習しましょう。
評価方法	授業貢献度50%（小テストを含む） 試験50%
使用する教科書（必ず購入してください）	篠原京子、増田泉『保育者をめざす人のための ことばの表現—話す・聞く・書く—』（建帛社、2019）
参考文献	